

梅雨末期は

水害シーズン

安全な暮らしは水防で

梅雨も終わりに近づいてきましたが、これまでにも多くの大きな水の災害が梅雨の末期に起きています。梅雨が終わるからと安心しないで、これまで以上の注意が必要です。さらに七月以降は台風の襲来にも気をつけなければなりません。これからの水害のシーズンの始まりです。私たちの暮らしは、災害と常に隣り合わせです。これぐらいの雨なら大丈夫と油断するのではなく、災害から暮らしを守るためにもふだんから水防に気をつけましょう。

恐ろしい

水害

梅雨の末期は、これまでの雨で河川も増水し、地盤も緩くなってきており、ちょっとした雨でも洪水や崖崩れの災害が起こりやすくなっています。河川が氾濫すると、その被害は甚大です。大きな河川の氾濫では被害は広範囲に渡り、家屋などの財産を失うことや場合によっては尊い命すらも奪われること

奪われること
もありません。

崖崩れも大きな被害を与えます。現在市内にも危険箇所は多く、傾斜三〇度以上の崖はすべて災害発生の危険性があります。崖崩れは地中にしみ込んだ水が地盤の抵抗を弱める結果起こるのですが、突然起き、スピードも早いので被害の大きい災害です。先日、も外山で崖崩れが起こるなど、その発生はなかなか予測できないだけに特に注意が必要です。

崖崩れの前兆

- ◆崖に亀裂がある
 - ◆崖から水がわいている
 - ◆小石がパラパラと落ちてくる
- 河川の氾濫にしろ、崖崩れにしろその被害が大きいだけにふだんから気象情報に注意するとともに、避難場所などを決めておき、危ないと思ったら早めに避難することが大切です。



外山で起こった崖崩れ

暮らしを守る

水防活動

恐ろしい水害から私たちの暮らしを守るために、水害時

には多くの人たちが出動します。その人たちの多くは消防署員であり、各地区の消防団員の皆さんです。こうした皆さんも、いざというときのために水防演習は欠かせません。南国市でも六月七日に防災訓練が行われ、市内の全消防団が参加。国分川の岡豊橋下では河川の氾濫を想定した積土の訓練を行い、水害時に備えました。



台風・豪雨に

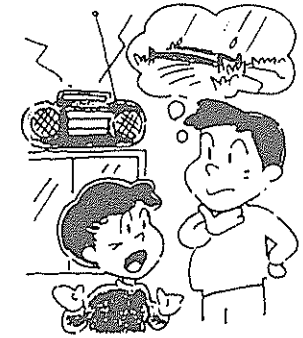
備えて

わが家の浸水対策を早めに
屋根・窓・雨戸などを点検し、不安な箇所は補強・修理をしておきます。雨水の逃げ道となる排水溝の清掃や地下室の浸水対策も忘れずに。非常時の持出し品は
万が一のとき、すぐ持ち出せるように、貴重品や最小限の衣類、食料はそろえておきましょう。



忘れていませんか停電対策
暗闇では何もできないばか

りか、とても不安なもの。懐中電灯・携帯ラジオ・ローション・マッチを用意しておきましょう。



避難命令が出たら

出たら

安全な避難路を選んで
水害時は様々な悪条件が重なります。安全な避難路、避難場所を、日ごろから確認しておきたいものです。なお、洪水時の車での移動は、危険な場合があります。
避難は弱者を優先に
お年寄り・病人のように弱



問い合わせは

南国市では、水害など災害の危険性が生じたときには、総務課に災害対策本部が設置されます。防災に関することや避難場所などについての問い合わせは、市役所総務課総務管理係（☎02111内線432）まで連絡ください。